

# 高校生の活字離れ改善に向けて

2年1組 田中 風吹    2年2組 稲田 美優  
2年2組 岡山きらり    2年2組 金子 月姫    2年2組 吉見 心優  
指導者 大岩 純菜

## 1 課題設定の理由

日本の高校生の平均読書冊数は、小中学生に比べて少ないことが分かる(図1)。しかし、子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものである<sup>(2)</sup>。

そこで筆者らは、高校生の読書に関する意欲向上と読書量の増加が必要だと考えた。先行研究や生徒に行ったアンケートの回答をもとに、ポスター掲示による読書の啓発を試みた。

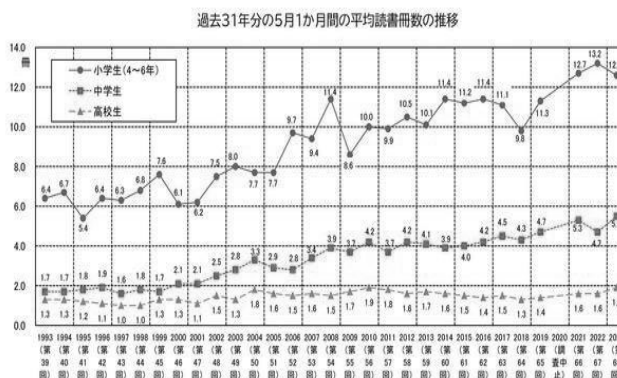


図1 1か月間の平均読書冊数の推移<sup>(1)</sup>

## 2 仮説

松本(2017)より、階段利用の促進を目的としたポスター掲示によって、階段利用者の割合が高まったことが分かった。本研究においても、読書啓発を行う上でポスター掲示が有効なのではないかと考えた。

## 3 方法

(1) 本校2年生文系の生徒(73名)を対象に読書に関するアンケートの実施

質問は以下の通りである。

- ・読書は好きですか。
- ・1か月で何冊くらい本を読みますか。
- ・高校生の読書量を増やすにはどうすればいいと思いますか。
- ・ポスターを見ましたか。
- ・ポスターを見て本を借りたいと思いましたか。

(2) ポスターを作成

ポスターの書き方のサイトを参考にし、生徒の興味を引くために、本のジャンルが被らないように選択した<sup>(4)</sup>。また、キャッチコピーやイラストなどの工夫を多く取り入れた。

(3) ポスターを掲示

掲示場所は、多くの生徒の目につきやすいトイレ前とした。

(4) ポスター掲示後に再びアンケートを行った

ポスター掲示前後の生徒の読書冊数の比較を行った。

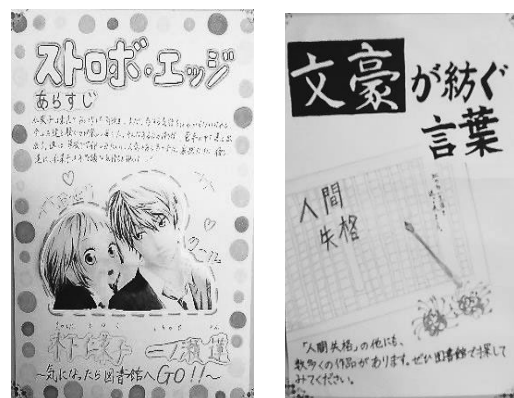


写真1 制作したポスター

## 4 結果と考察

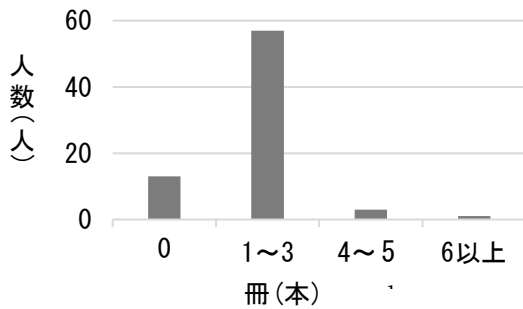


図2 1か月に何冊本を読むか

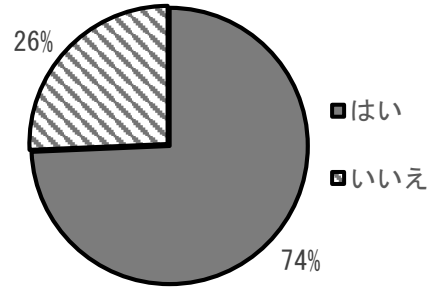


図3 ポスターを見て本が読みたくなったか

2年生文系生徒73人にアンケートを実施したところ、1か月に読む本の冊数は、1～3冊と回答した人が78%と最も多く、次いで0冊の人の割合が多かった(図2)。現在、本校生徒の読書冊数が全国平均程度<sup>(1)</sup>であることも分かった。ポスターを見たと回答した人は99%であり、非常に高い数値であった。そのため、ポスターを掲示する場所としてトイレ前は効果的だったと考えられる。また、ポスターを見て

本が読みたくなったと答えた人は74%と高い数値を表しており、読書に対する意欲向上ができたのではないかと考える(図3)。しかし、ポスター掲示前と掲示後の読書冊数を比較したところ、読書量の増加は見られなかった(表1)。調査を実施した時期が2学期の中頃ということで、行事や部活動等で忙しかったり、読みたいと思っても本を探しに行く時間が取れなかったりしたことが原因として考えられる。この結果から、ポスター掲示の付近に紹介した本を置くなど、生徒がいつでも本を手にとれるような環境づくりが大事になるのではないかと考えた。

表1 掲示物の前後による読書者数

	ポスター 掲示前	ポスター 掲示後
0冊	20人	21人
1～3冊	49人	49人
4～5冊	3人	2人
6冊以上	1人	1人

## 5 今後の課題

今回の研究より、ポスターによって読書に関する意欲の向上は見られたが、冊数単位での読書量の増加にはつながらなかった。これからは、ポスターでの読書の啓発に加え、実際に本を借りて活字を読む生徒が増えるよう、学校図書館と連携しながらより効果的な方法を考案していきたい。

## 6 参考文献

- (1) 公益社団法人 全国学校図書館協議会(令和5年)毎日新聞社「学校読書調査」
- (2) 文部科学省生涯学習政策局青少年教育課(平成13年)「子供の読書活動に関する現状と論点」
- (3) 松本裕史(2017)「身体活動の増強を目的とした大学構内における階段利用促進ポスターの効果」『健康運動科学2巻2号』
- (4) 東京カラー印刷株式会社(2021)【初心者用】印象に残るポスターの作り方!ぱっと見で関心を引くコツを解説